

【総合的な学習の時間】

■児童の状況	<ul style="list-style-type: none">・日常生活の中から自ら課題を見付け出すことができない児童が多い。・児童が自発的に外部機関等に働きかける様子が少ない。・インターネットや本を用いての情報収集には意欲的な児童が多い。・集めた情報から、必要なものを選択し、まとめていくことに困難さを感じる児童もいる。
■指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">・児童が主体的に関われる課題の設定が必要である。・児童が自発的に外部機関等へ働きかけようとするために、教師が率先して連携をしていく必要がある。・発達段階に応じた情報の取捨選択、活かし方を指導していく必要がある。
■授業改善に向けての具体的な方策	<ul style="list-style-type: none">・生活科と合わせて、系統的に子どもの探究心を高めるために日常生活に即した課題を設定することで、児童が主体的に学習できるようにする。・学びの中に体験的な学習や見学を取り入れ、自らの課題に取り組みさせる。・3年生で学習を始める段階から、児童と一緒に課題を設定する。そして、児童が「できる」と思える体験を増やしていくことにより、高学年になった時に児童自ら課題を設定できるようにする。・地域の人材も含め、児童の関心に応じた外部講師を効果的に取り入れていく。・板橋区立図書館と連携し、関連図書を選定して書籍を借りることで、調べ学習で使用できる資料を増やす。・国語の指導と関連付けて、探求した課題について、自分の言葉でまとめ表現できるように指導していく。